

九条北小学校 校長室だより

N0.7 令和4年5月9日



ゴールデンウイーク明けの月曜日ですが、児童たちは、元気に登校してくれました。児童朝会のために運動場に集合してくるのも、時間より早く整列をすることができました。



今日5月9日（月）は、「いじめについて考える日」です。「いじめを許さない学級・学校づくり」は仲間づくりの基本であることから、子どもたちがお互いについてよく理解し合い、相手の立場に立って考える機会とすること等を目的に、平成29年度から大阪市すべての小中学校で取り組んでいます。

★「いじめについて考える日」★

「いじめについて考える日」を1つの契機として、各学級でも、道徳等の時間を活用して「いじめについて」考える機会をもつ予定をしています。5月9日（月）、早速、6年2組で取り組んでいました。受けとる側が、「いじめられた」と感じたら「いじめ」にあたること、そしてどんなケースがあるかなどを、ともに考えていました。



「他人の気持ちに寄り添える」人たちが増えて、「いじめは絶対に許してはいけない」と強い気持ちを持ち、「誰もが安心して過ごすことができる学校」をめざします！



★「いじめについて考える日」★

今日5月9日（月）は、「いじめについて考える日」です。大阪市すべての全小学校・中学校で、「いじめについて考える日」に取り組んでいます。今年で5年目になります。なぜ、取り組んでいるかというと、いじめに苦しんでいる人がいるからです。なかには、いじめが原因で命を落とした人もいます。

みんなの周りではどうでしょうか？悲しい思いやつらい思いをしているお友だちはいませんか？いじめで苦しむお友だちをなくしたいですね。九条北小学校でいじめをなくすために、みんなに心がけてほしいことを伝えます。

それは、「いやだ やめて」という言葉や、これと同じ意味の言葉をお友だちが言ったとき、そのお友だちの気持ちに気づいてあげてください。自分が、相手の「いやだ」と思うことをしているときは、すぐにやめましょう。また、自分でないけれど、相手の子が気づいていないときは、「いやだ、やめて って思っているよ。」と教えてあげてください。時には、「いやだ やめて」と心で思っていても、声に出していえないお友だちもいます。そういったお友だちの気持ちに気づいてあげることができる人が増えると、「いじめのない、だれもが楽しいと思える学校」になります。

「いやだな」と感じることは、人によって違いがあります。人はひとりずつ、みんな違いますよね。違いがあつてあたり前なのです。だから、自分は平気だからと言って、お友だちが平気とは限りません。自分と違う感じ方や思いがあることを理解し、そういったお友だちのことを理解できる人であつてください。

九条北小学校を「いじめのない、だれもが楽しいと思える学校」にしたいですね。みんなの力を貸してください！

